

The library news

夢の図書館

11月号(霜月) (第201号) 2018年11月20日発行

夢野台高校図書委員会編集B

こんにちは。秋も一段と深まり、冬の気配を感じられるようになってきました。
11月と言えば、2年生は11月19日～22日まで宮古島での修学旅行。
また、体育の授業では「持久走」がはじまりました。体調管理に気をつけながら、
是非図書館へ心が温まる本を読みに来てください (S.H)

図書委員のおすすめ本



「シャーロック・ホームズの冒険」

コナン・ドイル 著

誰もが知っている、名探偵シャーロック・ホームズ。でも、
本で読んだことがある人は意外に少ないのでは。この本をオ
ススメしたい理由は、短編で読みやすさです。「赤毛連盟」(赤
髪組合)「まだらの紐」など有名事件が綴られています。
推理小説、初心者には是非読んで欲しい一冊です。

(2年 S.H)



「グレート・ギャツビー」

F・スコット・フィッツジェラルド 著

舞台は、1920年代のアメリカ。この話の語り手の隣家に
住む、ギャツビーという男は、毎晩のように盛大なパーティ
ーを開いている。そんなとき、ギャツビーに関する、あらゆ
る噂を耳にする・・・。

時代の違いや作家がアメリカ人ということもあり、現代と感
覚が違いますが、それを理解して読むと大変面白い本です。

(2年 Y.N)





「青春のジョーカー」

奥田 亜希子 著

この青春小説は、性別や時代や立場を越えていつの間にか自分のための物語になる。と担当編集者が言った本です。読んでいくほどに、どんどんこの物語の世界に吸い込まれていき、読み終わったときには、自分のための物語の1つになっています。是非、この本を読んで自分のための物語にしてみませんか。



(1年ナナト)



「ポイズンドーター・ホーリーマザー」

湊 かなえ 著

イヤミス（読後、嫌な気分になるミステリー）の女王とも呼ばれている、湊かなえの『毒』がたっぷり詰まった作品です。

表題、2編を含む、6つの短編からなり、ひとつひとつに『湊かなえ』らしさが感じられます。

湊かなえの本が好きな人はもちろん、読んだことのない人には、一度は読んで欲しい作品のひとつです。

(1年T, S)



「星の王子さま」

サン・テグジュペリ 著

砂漠に不時着した「僕」が出会ったのは、小さな小さな自分の星をあとにし、いくつもの星を巡ってきた王子さま。

『ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。

いちばん大切なことは目に見えない。』

王子さまのどこか不思議で、でも深い物語をぜひ読んでみてください。

一度読んだら、きっと忘れられない宝物になります。

(1年うさぎ)

